

院長コラム

聖書の一節から  
From the Bible



*How clearly the sky reveals God's glory!  
How plainly it shows what he has done!  
Each day announces it to the following day;  
each night repeats it to the next.  
No speech or words are used, no sound is heard;  
yet their message goes out to all the world  
and is heard to the ends of the earth.*

もろもろの天は神の栄光をあらわし、  
大空はみ手のわざをしめす。  
この日は言葉をかの日につたえ、  
この夜は知識をかの夜につげる。  
話すことなく、語ることなく、  
その声も聞こえないのに、  
その響きは全地にあまねく、  
その言葉は世界のはてにまで及ぶ。

詩篇第19篇 1~4節(口語訳)

聖書と自然は神の書かれた二つの書物である、というのは、古来キリスト教思想の中で語られてきた言葉です。近世になると、この言葉に導かれて、ヨーロッパの多くの学者が自然の探究に情熱を傾けてきました。今日、都会で見ることのできる星はほんのわずかになってしまいましたが、人工の明かりのないところに参りますと、夜空にはこんなにも多くの星が輝いていたのか、と

驚くばかりです。大学図書館4階閲覧室の南西には聖句を題材にした『一瞬と連続「聖句」』というアート作品がありますが、そこにはこの聖句が、日本語、ギリシア語、ラテン語、そして英語の4つの言語で書かれています。特に、ギリシア文字はデザイン的にも美しいので、大学に来られる機会に、ぜひ、図書館を訪れ、併せてもう一度この詩篇の言葉の響きを味わってみてください。

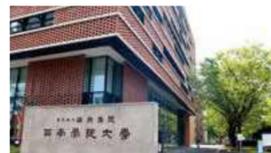


西南学院 院長  
いまい なおき  
今井 尚生

### School Organization Chart

## 1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。  
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育を実施しています。 ※データは2022年2月現在



#### 西南学院大学

学生数:約8,200人

1949年開設。人文・社会系総合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実、向上を図っています。長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスコミ、法曹、福祉など多方面で活躍しています。



#### 西南学院中学校・高等学校

【高等学校】生徒数:約1,300人

全学年、毎日1限目から7限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。知識の習得はもちろん、物事の善し悪しを判断する知恵と「自分にしてほしいことを隣人に行う」という積極的な生き方を身に付け、それをいかに社会で生かしていくかを学びます。

【中学校】生徒数:約650人

一人ひとりが授けられた能力や個性を最大限に伸ばすことができる教育を目指し、中高一貫教育を実施しています。6年間にわたるゆとりあるカリキュラムと恵まれた環境の中で、生徒たちが自ら考え、自発的に学ぶ姿勢を身に付けると同時に、聖書の学びやクラブ活動、国際交流、ボランティア活動等を通して、豊かな人格形成ができるように配慮した教育を実施しています。



#### 西南学院小学校

児童数:約420人

2010年に開校した、西南学院の中で最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「隣人を愛する」「知恵を育む」ことを目標として、平和な未来を創る子どもたちの育成に努めています。環境に配慮して設計された校舎内は最新の教育機器を備えており、教育の質的向上が図られています。



#### 西南学院舞鶴幼稚園

園児数:約170人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかたたくまじひかりのこ」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに「隣人を愛する」「知恵を育む」ことを目標として、一人ひとりの子どもを大切に、「一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる心の土台を育んでほしいと願い、保育を進め、育む保育を実施しています。



#### 西南学院早緑子供の園(保育所)

園児数:約100人

0歳児から5歳児までの園児が長時間生活する場として、家庭的な雰囲気ときめ細かな育児を心がけています。「神様に愛され守られて成長していく一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる心の土台を育んでほしいと願い、保育を進め、育む保育を実施しています。

# Vol. 10

March 25, 2022

西南学院広報誌

## 赤煉瓦通信

～一粒の麦から～

2022年3月25日発行(年2回発行)  
学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課  
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92  
TEL.092-823-3248  
koho@seinan-gu.ac.jp

### 【“一粒の麦”について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言われた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくことを創立者の思いであり、今もなお大切に受け継がれています。

### 西南学院

<https://www.seinan-gakuin.jp>

- 西南学院大学・大学院
- 西南学院中学校・高等学校
- 西南学院小学校
- 西南学院舞鶴幼稚園
- 西南学院早緑子供の園(保育所)

西南学院広報誌

あか れん が

# 赤煉瓦通信 Vol. 10

March 25, 2022

～一粒の麦から～



【特集】

# 西南学院 と 未来づくり



## 西南学院

【特集】西南学院と未来づくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 西南学院と未来づくり

地球の未来を案じ、今できることから貢献していこうという思いは、国境や年代を超えた私たち共通の目標です。

今回の特集では、そうした活動に取り組んでいる西南学院の卒業生を筆頭、大学・各学校・園・保育所で推進している啓発活動について紹介します。



世の中から「生きづらさ」をなくし  
障害＝ネガティブのイメージ払拭へ

### Profile

一般社団法人プラス・ハンディキャップ代表理事  
ギークス株式会社経営企画部  
広報チーム・SDGsアンバサダー  
ささき かずなり  
佐々木 一成さん  
西南学院高等学校 2004年卒業  
西南学院中学校 2001年卒業

1985年生まれ。生まれつき、両足と右手に障害がある。九州大学法  
学部卒業後、人事系コンサルティング企業に就職後、独立。2013年  
にはWEBメディア「Plus-handicap(https://plus-handicap.com/)」  
を立ち上げた。現在は、ギークス株式会社経営企画部 広報チーム  
に所属し、シッティングバレーボール 東京2020パラリンピック日  
本代表に選出されたパラアスリートでもある。

生きづらさをテーマにしたWEBメディア「Plus-handicap」の編集長、  
シッティングバレーボール 東京2020パラリンピック日本代表、ギークス  
株式会社の広報/SDGsアンバサダーと、「3足のわらじ」を履いています。  
私は、生まれながら両足と右手に障害があります。環境や仲間に恵まれ、  
これまでの人生で疎外感や孤独感を抱くことはありませんでしたが、  
社会に溶け込めずに苦しい思いをしているマイノリティーの人もいま  
います。私自身も障害者として感じるのは、自らの手で人生を充実させる  
ためには、他の誰でもない自分自身の意識と行動が大事です。マイノリ  
ティーのネガティブなイメージは社会だけでつくられたものではなく、  
自分たちにも原因があるのではないかと思います。そこに気付くきっ  
かけをつくれたら、と考えてWEBメディアを始めました。  
振り返ってみると、西南学院の校風はとてもしびしびとしていて、先  
生方は生徒一人ひとりの自主性を大切にしてくださっていました。今の  
私の考え方や働き方の根本には、当時の経験が影響しているのかもしれ  
ません。  
そんな私の今の目標は、2024年パリパラリンピックに日本代表として  
出場すること。仕事とパラスポーツを両立した障害者のキャリアのモデ  
ルケースになれるよう、これからはさまざまなことに挑戦し続けます。

活動の一例 WEBメディア運営/企業広報(SDGs・ESGのプロジェクトマネジメントを  
担当)/シッティングバレーボール日本代表



講演などのイベントで活動について話す機会も シッティングバレーボールの試合中の様子

2019年に73歳で逝去した中村哲先生は、35年もの間アフガニスタ  
ン、パキスタンの地で人道支援に取り組んでこられました。医療活動だ  
けではなく、井戸を掘り、用水路をつくり、多くの人々に生きる希望を与  
え続けたのです。生前、中村先生は「こ  
こまで情熱を持ち続けていられたのは、  
困っている人を放っておくことができな  
いという思いが強くあるからで、それは  
西南学院中学校で学んだキリスト教の  
精神が根付いているからではないか」と  
おっしゃっていました。  
平和であることの意義が問われ続け  
る現代社会。今一度、中村先生の活動か  
ら、自分には何ができるのかを考えてみ  
ませんか。



「天、共に在り アフガニスタン三十年の闘い」  
NHK出版/2013年  
半生をつづった中村氏の自伝



荒れ果てた国に光をともした  
故・中村哲先生の功績に学ぶ

### Profile

ベシャワール会元現地代表  
PMS(平和医療団・日本)元総院長  
なかむら てつ  
中村 哲先生  
西南学院中学校 1962年卒業

1946年生まれ。九州大学医学部卒業後、国内の病院勤務を経て、1984年  
NGO医師としてパキスタン北西部のベシャワールに赴任。以来、パキスタ  
ンとアフガニスタンで医療活動と水源確保事業を続ける。ラモン・マグサイ  
サイ賞(2003年)など、数々の賞を受賞。2018年にはアフガニスタンか  
らアフガニスタン国家勲章を受章した。



西南学院創立100周年記念講演にてご登壇 大学チャペルで開催した「中村哲先生 追悼の集い」

【特集】西南学院と未来づくり

社会の不条理や欠損から生まれる、貧困や差別・偏見、環境問題な  
どの社会問題をビジネスで解決するために、25歳の時に「ボーダレス・  
ジャパン」を創業しました。現在では、15カ国40名を超える起業家たち  
がさまざまな課題に立ち向かっています。  
西南学院高等学校在学中は、勉強熱心で真面目というタイプでは  
なく、テニス一筋でした。当時は、社会貢献や今でいうSDGsに関心を  
持っていたわけでもありません。きっかけは19歳の頃、貧困に苦しむ  
発展途上国の子どもの映像を見て、「これからの人生を社会問題  
解決のために使おう」と決意したのです。知ることが未来を良くする  
第一歩、行動することが次の一歩です。同じ地球に暮らす者として、皆  
さんに社会問題を知っていただくきっかけの種まきをしていきたいと  
思っています。

活動の一例 ソーシャルビジネス/再生可能エネルギーの供給



起業家仲間と交流した際の記念写真 '9割の社会問題はビジネスで解決できる' PHP出版/2021年 ボーダレス・ジャパン初の書籍も話題に



「貧困をビジネスで救う」決意を胸に海外にも 高校時代に所属していたテニス部での様子



知ることが第一歩  
世界中の社会問題をビジネスで解決

### Profile

株式会社ボーダレス・ジャパン  
代表取締役社長  
いしきょう けんじ  
田口 一成さん  
西南学院高等学校 1999年卒業

1980年生まれ。早稲田大学在学中にワシントン大学へビジネス留学。25歳で  
独立し、「ボーダレス・ジャパン」を創業。2019年日経ビジネス「世界を動かす  
日本人50」、Forbes JAPAN「日本のインパクト・アントレプレナー35」に選出。  
2020年には地球温暖化問題を解決すべく、再生可能エネルギーを提供する  
新規事業「ハドリ電力」を立ち上げた。



「その魚、まだ食べられます！」  
漁業が抱える“食品ロス問題”に取り組む

### Profile

株式会社パノラマ  
代表取締役社長  
さいとう ゆうすけ  
斉藤 裕輔さん  
西南学院高等学校 1994年卒業

1975年生まれ。1997年、大倉にて「cafe gallery」を創業し、音楽や芸術イ  
ベントのプロデュースをはじめとする運営に19年間携わる。2011年の東日本大  
震災を機に、九州大学・西南学院大学の学生と東北を支援するボランティア  
団体を発足。現在は加工、付、販路開拓と販売までを一貫して手掛ける「六  
次産業化」をコンセプトに、鮮魚店・飲食店・水産加工業を営んでいる。

「地元の食材を自分たちで調達し、店で提供したい」。そう思い立ち、7  
年前から福岡市近郊の漁港で水揚げをしている漁師さんを訪ねるよう  
になりました。その際に、サイズが不揃いだったり少しでも傷がついて  
いたりする魚は市場価値がなくなってしまうという現実を知ったので  
す。そこで、廃棄対象の魚を持ち帰り、経営する居酒屋で扱うようになり  
ました。さらに最近では、規格外の魚を活用したミールキットと加工品  
を製造する通販事業「サカナビヨリ」を立ち上げました。  
埋立地の増加に伴い、魚の変異や漁獲量の減少が危ぶまれる昨今。  
まずは「食べ物を大切に」という身近なところから環境について考  
えるきっかけにしてみたら、うれしいですね。

活動の一例 飲食店向けの卸業/水産加工品の生産・販売/海鮮居酒屋「酒場のシャトル」経営/魚の  
ミールキット・加工品通販事業「サカナビヨリ」/クラウドファンディング(※現在は終了)



「日本の漁業を守りたい」思いは日々強く 釣りたての魚をすぐ選別し、店へ持ち帰り



その日、店で出す料理やミールキット用に調理 高校卒業後は4年間アメリカに留学

【特集】西南学院と未来づくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# 未来への架け橋

SDGsを意識した未来に向けての取り組みは、西南学院の大学・各学校・園・保育所でも広がっています。
全ての人々が平和と豊かさを享受できるようになるには、日々の小さな積み重ねが大切なのです。
だから、私たちはこれからも学び続けます。一人ひとりの行動が「明るい未来」につながる我们相信。

## TOPIC

### TOPIC.1/西南学院早緑子供の園(保育所)

#### 五感を使った学習で 食の恵みへの感謝の心を持つ

園では、日頃から自然や社会に関するものについてテーマを決めて、環境を知る活動を行っています。10月下旬にはさつまいもやミカンなどの収穫を体験し、11月の感謝祭礼拝の日には園児が家庭から果物を持ち寄り、神さまから与えられたたくさんの恵みに感謝をします。また、収穫されるまでの経過を調べたり、野菜当てクイズをしたりと、子どもが興味や好奇心を持って取り組める、五感を使った活動を取り入れています。最近では給食の食材に注目し、栄養素について話す子どもたちの姿も見られるようになりました。

人間も自然界の中の一つの存在。子どもたちには、これからも日々の食事に感謝をし、食べ物を大切にすることを学んでほしいと願っています。



食事の前には必ず祈りを捧げる ※2019年秋撮影

糸島の農園でイモ掘り体験



絵合わせカードで野菜を知る



触ったりにおいをかいだりして学ぶ子どもたち

## TOPIC



中村先生の貴重な学生時代を知る和佐野元小学校長

### TOPIC.2/西南学院小学校

#### 平和を創り出す人へ 中村哲先生の功績に学ぶ

「西南よ、キリストに忠実なれ」という建学の精神を具現化され、西南学院の卒業生である中村哲先生の思いと働きをつなげていこうと、12月第1週のチャペルを、全て「哲先生に学ぶ」をテーマに行いました。中村先生と親交が深かった初代小学校長の和佐野健吾先生にも特別に本校にいらしていただき、学生時代の中村先生のお話を通して、私たちがどのような人になるべきかをじっくりと考える良い機会になりました。

また、チャペル最終日の12月4日は、中村先生の命日。チャペルのお話の後は全員で黙祷を捧げ、中村先生に思いを捧げました。今後も、子どもたちが隣人を大切にし、そして真理を探求し、平和を創り出す人へ成長していくことを願ってやみません。



校内には中村先生の活動の様子も掲示



話に聞き入る児童と保護者

【特集】西南学院と未来づくり

### TOPIC.3/西南学院大学

#### 多くの人を苦しめる入管問題を シミュレーションを通して学習

国際法学習プロジェクト「KARDIANOIA(カルディアノア)」の一環で、実際の入国管理をモデルにした架空の題材を基に、入管問題の現実に対する体験シミュレーションを実施しています。より現場の雰囲気を感じさせるため、学生自らが長崎県大村市にある入国管理センターを訪問して被収容者に寄り添う心構えを学んだり、難民支援に従事している専門家による講演会に参加したりするなど、真摯に学んでいます。
参加した学生からは「多様なものの見方を学んだ」「この経験を生かして人に寄り添う仕事がしたい」といった感想が挙がっています。今後も多くの人々が参加できるSDGsを念頭に置き、国際法の観点から学生と共にアプローチしていきたいと思っています。



大村入管センターでの被収容者との面談を再現



コロナ禍ではオンラインを活用し学びを深めた

## TOPIC



分別を通して、
社会を考える機会に

自分たちの行動が、社会や未来につながることを実感

### TOPIC.4/西南学院舞鶴幼稚園

#### ゴミの分別を通して環境に興味を持ち より良い未来を築ける人に

年長児のクラスでは、環境問題に触れるきっかけづくりとして、園児たちによるゴミの分別を実施しています。「紙類(濡れていないもの)用」と「その他の燃えるゴミ用」の2つのゴミ箱を、袋の色で分けて設置し、分別しています。最初のうちは戸惑っていた子どもたちも次第に慣れていき、自分で考えて分別するようになりました。また、迷っている子がいると「そのゴミはこっちだよ」と友人同士で教え合う姿も見られます。

これからは地球のことを考えながら、自分たちの生活をより豊かにしていかれることを、心から願っています。一人ひとりの力は微々たるものかもしれませんが、まずは身の回りのことから自分ごととして考えることを子どもたちへ伝えていくことがより良い未来への一歩になると信じています。

3

4



平和の礎の前で、平和を誓う



多くの生徒が展示の前で釘付けになっていた

真剣な態度で話に聞き入る生徒たち

### TOPIC.5/西南学院中学校・高等学校

#### 沖縄修学旅行での経験を踏まえ 平和について、命について考える

中学校・高等学校では、他者を尊重し、喜びや悲しみに共感して生きる「平和をつくりだす者」となることを目指しています。

中学校では、3年間を通して一貫したテーマの基、平和学習に取り組んでいます。その集大成として実施しているのが、沖縄修学旅行です。

現地では、普天間飛行場の敷地に囲まれた佐喜真美術館を見学して沖縄の今を知り、戦時中に避難場所として使われたガマ(自然洞窟)に実際に入り、沖縄戦体験者の方のお話を聞くことによって沖縄戦の惨状に思いをはせました。「戦争は恐ろしいものだ」という気持ちだけでは平和は維持できません。見て、聞いて、全身で感じることで、改めて平和について考える貴重な機会となっています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は沖縄修学旅行を中止しました

# 西南学院大学人間科学部 社会福祉学科20周年



西南学院大学  
人間科学部社会福祉学科  
教授(学科主任)  
くらた やすみち  
倉田 康路

## 「愛と奉仕の精神」で 全ての人を支える力を身に付けて

キリスト教の「愛」と「奉仕」の精神は、社会福祉の理念である「人間の尊厳」と「人と社会を支える」という取り組みに通じ、根源を同じくするものだと思います。2001年に設立した社会福祉学科では、キリスト教教育を通じ、豊かな人間性や愛について学び、さらに社会福祉の専門領域を深めていくカリキュラムが特徴の一つです。  
本学科で修得できる力は大きく4つあります。それは「人と社会を結びつけ、生活上の問題を理解することができる力」「社会の変化に柔軟に対応するための思考力や判断力」「主体的に人と協働し、問題を解決することができる力」「人間の尊厳を持って人と向き合い、取り組んでいくための価値観を探究する力」です。近年では、時代の変化やニーズの拡大に合わせて社会福祉の専門職としてだけでなく、行政や民間企業でも生かせる福祉の力を培っています。国家資格についても、社会福祉士や精神保健福祉士の受験資格に加え、保育士の資格も取得できるため、卒業生もさまざまな分野で活躍しています。  
社会福祉は、一部の限られた人のための特別なものではなく、全ての人の幸せな生活の実現を目指していく役割を担っています。今後も多くの学生が本学だからこそ身に付く学びを獲得し、夢を叶えて活躍してくれることを願っています。

1 ■実習を控える学生に向けて、卒業生が実習体験を伝える機会も設けている  
2 ■座学でしっかりと理論を学び、実践へとつなげていく  
3 ■学科設立20周年を記念して行われたシンポジウムでは、学科のこれまでとこれからの話も  
4 ■現場での実習を重視したカリキュラムになっている

# ANNIVERSARY

節目を迎えた西南学院の各学校の歴史を振り返り、その学びを得て成長した卒業生と共にご紹介します。

## 熱意を持った先生方からの教を胸に ソーシャルワーカーとして歩む日々

一般社団法人あそびて 代表理事  
放課後等デイサービスcolor 野間教室 管理者  
いしい むねと  
石井 宗仁さん (西南学院大学 人間科学部社会福祉学科 2008年卒業)

「スクールソーシャルワーカー」になりたいと考えていたときに西南学院大学の社会福祉学科に興味を持ち、入学を決めました。改めて振り返ると、大学で学んだ全てが自分にとっての大きな財産になっていると感じます。何より、社会福祉学科の先生方は「福祉の実践家」として熱意を持ち、私たちと日々向き合ってくださいました。中でも印象に残っているのは「なげればつくればいい」という恩師の言葉。今でも時代や社会の変化に合わせて、挑戦を求められるたびに思い出し、この言葉に何度も背中を押されてきました。

現在は、在学中に出会った友人と一緒に「一般社団法人あそびて」を立ち上げ、代表理事として放課後等デイサービス事業所を2カ所運営しています。ソーシャルワーカーは、社会をより良く変える力を持っています。現代の社会課題を「1万回たたかないと開かない扉」に例えるならば、最後の1回をたたいた人が注目されがちですが、私は開くまで扉をたたき続ける人でありたい。目の前にいる人の声をしっかりとすくい上げながら、地道に問題を解決していきたい。そして、そのような仲間一人でも多く増やすことが、今の私の夢です。



教室の壁や家具には手作りのものもたくさん

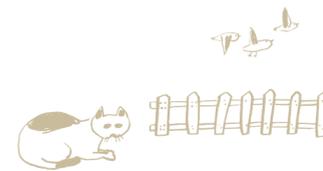


大学在学時はバンド活動にも熱中したそう

## 卒業生

# 卒業生を 訪ねて

西南学院で学び、さまざまな場所や分野で個性を輝かせている卒業生の皆さんに、今のお仕事の話や在学中の思い出を語っていただきます。



## 先生に背中を押され 幼い頃からの夢を実現

日本体育大学 助教  
ほり あやか  
堀 彩夏さん 西南学院大学 人間科学部心理学科 2016年卒業

日本体育大学のハイパフォーマンスセンターにて、臨床心理士・公認心理師としてアスリートの心理的なサポートを行っている。

日本体育大学のハイパフォーマンスセンターという機関で助教をしながら、臨床心理士・公認心理師としてアスリートの心理的なサポートを行っています。また、「東京2020オリンピック・パラリンピック」では選手へのスポーツカウンセリングや、競技団体への心理セミナーを行い、大会後も世界で活躍するアスリートを見守り続けています。  
幼い頃からスポーツが好きで、アスリートを支える立場になりたいという夢があり、在学中は心理学科の横木智彦先生のゼミでスポーツ心理学について学びを深めました。しかしながら、



日体大で学生に向けて、自身の学んできた知識と経験から心理サポートの知識を伝えていく福さん  
(Memories)  
横木ゼミの仲間たちとの卒業発表会にて、日体大で心理学を学ぶ学生との合同ゼミに参加したことも良い刺激だったそう

スポーツに関わる仕事は狭き門ということもあり、臨床心理学的視点など、より専門的な分野からアスリートを支えるために大学卒業後は専門職大学院へ進学。そこで、大学院2年生の頃、横木先生から連絡があり、日体大で私の現職が募集されているという情報とともに「やってみなさい」と背中を押されました。幼い頃からの夢を叶えることができたのは、西南学院大学でのつながりや学びの日々があったからこそ。何気ない日常の中に挑戦の入り口やきっかけがたくさんちりばめられていたのだと感謝しています。

## 全ての経験は糧になる 自分の“好き”を探し続けたい

株式会社シミズオクト 空間デザイナー  
ふじまる しの  
藤丸 詩乃さん 西南学院早緑子供の園(保育所) 2002年卒業

美術大学を卒業後、現職に就き、ステージの図面制作に携わる。演者や観客の立場に立ちながら世界観や動線を形にしている。



観客が非日常の感動を味わえるよう、日々アイデアを出しながら、華やかな現場を形作っている藤丸さん  
(Memories)  
登り梯の真ん中で手を広げてバランスを取る藤丸さん。わんぱくで明るい幼児期だったそう

コンサートやスポーツイベントのステージセットをはじめ、看板やフロアステッカーなどのデザインをする空間デザイナーとして働いています。  
在園時はお絵描きが好きで黙々と絵を描いている日がある一方で、男の子の友人が多く、活発な性格だったので、保育所では一度も「女の子だから」と言われることはなく、「子どもだから」という理由で軽んじられることもありませんでした。先生方が幼少の頃から私を一人の「個」として尊重してくださったからこそ、自分の得意なことや興味があることに打ち込んで、今があるのではないかと思います。また、自分のことは自分で考え、決断し、生きているかのよう



に思えますが、そこにある潜在的な習慣や考え方や、強い体をつくってくださったのは、きっと在園時に関わった先生方のおかげだと感謝しています。  
夢に向かう道中は、「何かを成し遂げなければ」とか「何者かにならなければ」とつい焦ることもありましたが、一生懸命に取り組んだ経験は、全て自分の財産になります。保育所でそうしていただいたように、周囲の大切な人と過ごす時間や好きなことに没頭したりする時間を大切に、肩の力を抜いて自分の興味をどんどん追求していきたいと思っています。



安心感が集中力を育む

一藤丸 園では、子どもたちを集めて話をする前に、導入として手遊びをしたり、質問をしたりして、子どもたちが話に集中するための準備をします。年長児など発達段階が高い子には、少し難しい質問をすることでぐっと話に注目してくる姿があります。

一山田 小学校では集中力を高める工夫として、子どもたちが「やってみたい」「楽しい」と思うことにスポットを当てるようにしています。例えば、低学年のプログラミング教育では「自分が描いた絵を動かす」というテーマにすると、全員ワクワクしながら集中して取り組んでくれます。また、児童自身が「できそうだな」と思うことができるような課題を設定することも意識しています。

一藤丸 乳幼児期は、遊び＝学びです。保育室には、園児たちがそれぞれ関心のある遊びに集中できるように、ごっこ遊びや積み木遊びなどのコーナーを作るなど、環境づくりも工夫しています。また、乳幼児期は何より安心感が大切だと考えています。安心感が土台にあててこそ、集中力が養われると思います。



プログラミングの授業中、やりたいことを思い描きながら集中して作業をする児童

一山田 安心感を与えるという点においては、西南学院のキリスト教教育が非常に重要な役割を果たしていますね。「大丈夫だよ」「あなたは愛されているよ」というメッセージを伝えることは、小学校でも大事にしています。

一藤丸 幼児クラスでは毎週月曜日の朝、礼拝の時間があります。目には見えない神様について、想像を膨らませることも集中力を育む機会だと感じています。小さい頃から神様の存在に触れ、考える場があることは、西南学

学びの現場から

西南学院の大学・各学校・園・保育所では、学生、生徒、児童、園児の成長のために教職員が一丸となり、より良い教育を目指して日々さまざまな取り組みを行っています。



西南学院早緑子供の園(保育所) / 保育士  
ふじまる あきこ  
藤丸 章子

西南学院小学校 / 教諭  
やまだ しゅんすけ  
山田 俊介

院の強みでもあると思います。小学校では、どんな場面で児童の集中が見られますか。

一山田 小学校は学年を超えた縦割り班で活動することがあり、それぞれの学年にペアがいます。そこで、例えば6年生には「1年生が楽しくできるようなゲームを作ろう」と呼びかけると「あの子が上手にマウス操作するには…」と、途端に集中して取り組めるようになります。相手 pensando 行動する場面で、児童の集中が見られるのかなと思います。

一藤丸 園でも異年齢児の関わりは重要視しています。発達異なる子どもたちが共に生活する中で、子ども同士の多様な関係が生まれ、社会性も育ち、クラス全体の活動への集中力や思考力にもつながっているように感じます。



いつも見守ってくださる神様に思いをはせ、礼拝の時間に祈りを捧げる子どもたち

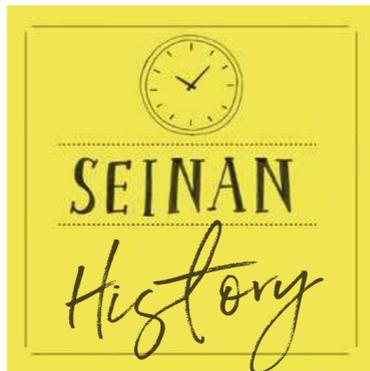
集中力は積み重ねによって身に付く

一山田 保護者の方から、よく「集中力を保つためにはどうしたらいいですか」と聞かれるのですが、藤丸先生はどう思いますか。

一藤丸 子どもが好きなことを知って、その気持ちを大切にすることでしょうか。「この子がこれが好きなんだな」と受け止め尊重することで、子どもは「好きなことに没頭しているんだ」と思えるはず。乳幼児期に強制されない集中力を育むことが大切だと思います。小学生になると、教科学習など苦手なことにも取り組むことが必要になってきますね。

一山田 そうですね(笑)。特に高学年になると、課題によっては好奇心や興味を原動力にすることが難しい子もいます。結果、意欲が高まらずに集中が切れてしまうことがあります。その中でも、自己肯定感が高まるように、まずは3分間やってみることを勧めています。一度に全部やらなくてもいいから、まずは取り掛かってみる。そして、3分間達成できたら、認める。達成感があれば、次につながり、こうした積み重ねが子どもの集中力を育てていくのではないかと思います。

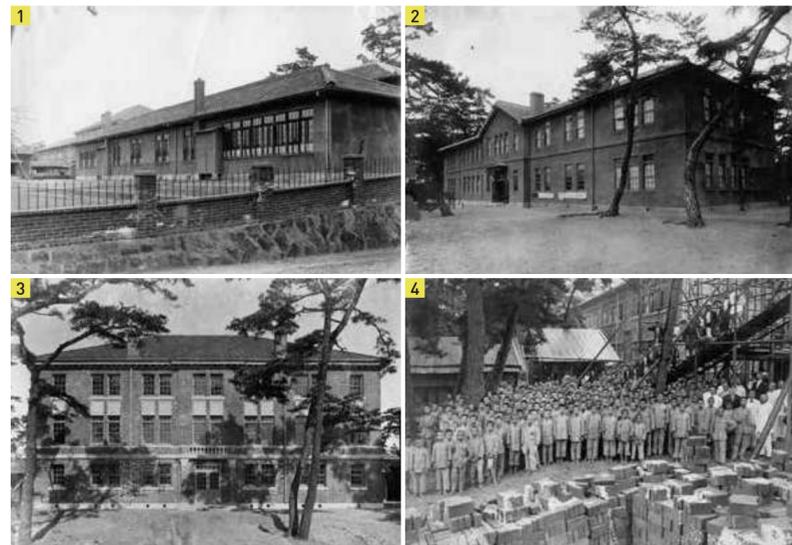
一藤丸 乳幼児期は、全ての基盤である日々の生活を規則正しく楽しく過ごして、心と体を健康に保つことが、結果として集中力を伸ばすことにつながっていくのではないかなと思います。



西南学院History

【第4回 / 建物】

100年以上の歴史を誇る西南学院には、後世に伝えるべき歴史やストーリーがたくさんあります。このコーナーでは西南学院にまつわる歴史を紹介していきます。



1 物理化学実験室(1921年竣工) 2 旧高等部校舎(1922年竣工) 3 西南学院旧本館・講堂(現・大学博物館)(1921年竣工) 4 旧学院本館定礎式(1920年)。礎石の下には聖書などが納められた。右前方の黒いスーツを着た人物(左)が創立者C.K.ドージャー

福

岡市大名町で1916年4月に西南学院が開校し、福岡の地にキリスト教主義に基づく教育の種がまかれました。1918年の西新への校地移転後、西南学院はこの地で100年以上の時を重ねてきました。1921年竣工の旧学院本館(現・大学博物館)をはじめとし、学内には美しい校舎が立ち並び、学び舎を彩っていきました。今回は、校舎の設計図や記録写真から学院の在りし日の姿に思いをはせます。

1907年10月1日に西南学院の源流となる福岡神学校が開校します。しばらくの間は借家で授業が行われていましたが、1908年10月に福岡城の濠に面した福岡市大名町105番地に神学校の新校舎が建てられました。神学校は1910年に東京に移りましたが、1916年4月に男子中学校として西南学院が開校すると、神学校の建物は西南学院の校舎として使用されました。

1917年、西南学院は西新に大名町の約2倍の広さの土地を購入することで、新たな発展の足掛かりを得ます。同年、西

南学院はヴォーリス合名会社(後のヴォーリス建築事務所)と契約を交わし、校舎の建築が始まりました。1905年にアメリカから来日したヴォーリス(William Merrell Vories, 1880-1964)は、YMCA活動を通して「近江ミッション」を設立して熱心に伝道活動に従事し、数多くのミッション・スクールや教会の建築を手掛けたことで知られています。

中学部第1(東)校舎は、8教室からなる木造2階建てで、1918年1月に完成しました。続いて、第1(東)校舎とほぼ同じ規模の第2(西)校舎が1919年4月に完成しました。また1921年3月には、中学部舎監住宅が完成し、8月には、物理化学実験室(写真1)が完成しました。1921年には高等学部が開校し、1922年4月に木造2階建ての高等部校舎(写真2)が完成しました。

旧学院本館の誕生 一次の100年につなぐ

1921年に竣工した旧学院本館(写真3)は、本学の草創期以来の象徴的な建物であるとともに、ヴォーリスの初期にお

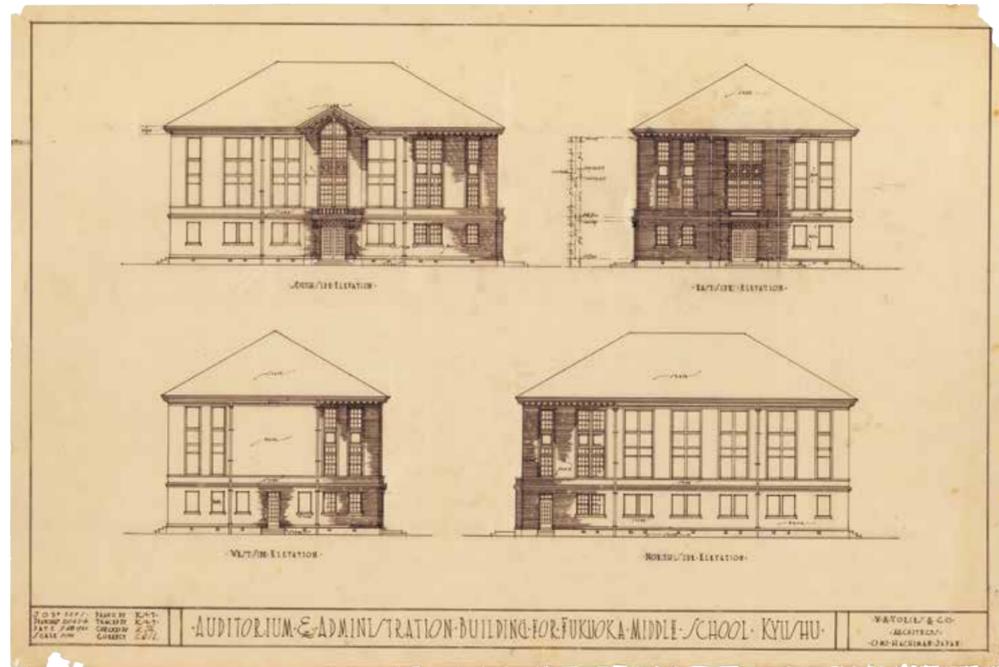
ける代表的建築物の一つです。

1920年9月9日、教職員・生徒が列席して定礎式が行われました(写真4)。本館の「建築仕様書」の「一般の約件」(現在の「約款」のようなもの)の項では、工事請負人の取るべき行動規定が書かれ、その第15項に「日曜日の作業禁止」「所定の場所以外での喫煙の禁止」「飲酒および野卑なる談話の絶対禁止」などが掲げられています。

旧学院本館はジョージアン・スタイルに由来するアメリカの伝統的なコロニアル・スタイルです。赤レンガ造りの3階建ての建物で、1階には院長室や事務室などが設けられました。2階、3階は吹き抜けにして、800人収容の講堂が作られ正面講壇に向かって三方に座席が階段状に設置されました。

西南学院旧本館・講堂は、2015年に福岡県指定有形文化財(建造物)に指定され、2021年に竣工100年を迎えました。赤レンガ造りの美しい建物は、今日も西南学院のシンボルとして親しまれ、次の100年へと受け継がれています。

西南学院旧本館・講堂(現・大学博物館)立面図 / 1920年 / 株式会社一社ヴォーリス建築事務所所蔵



一〇〇年の歴史が息づく

ここで紹介した校舎の設計図(複製)などの「西南学院と建物」に関する資料を百年館1階企画展示室で展示しています。ぜひご来場ください。(2022年3月14日から12月20日まで)

# SEINAN GAKUIN information

## ～西南学院からのお知らせ～

### 西南学院小学校長 就任のお知らせ

2022年4月1日付で、黒木佐幸教諭が西南学院小学校長に就任します。



西南学院小学校長(新任)  
黒木 佐幸  
任期:2022年4月1日～  
2025年3月31日

西南学院小学校で学ぶすべての子どもたちが、真理を探究し平和を創り出す人となり、光の子として活躍することを心から願っています。「西南よ、キリストに忠実なれ」という建学の精神を礎とし、子どもたち一人ひとりの豊かな成長を育むとともに、これからも主に信頼し、希望をもって歩みを進めていきたいと思います。

黒木 佐幸

### 2022年度前期 公開講座 「西南コミュニティー カレッジ」のご案内

西南学院大学では、あらゆる世代の「学びの場」として、公開講座「西南コミュニティーカレッジ」を開講しています。2022年度前期は、全11講座を開講します。各講座についての詳細およびお申込み方法については、大学ホームページでご確認ください。



※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開講方法を変更、もしくは開講しない場合があります。

### 西南学院大学 生涯学習 検索

【お問い合わせ】  
総合企画部 社会連携課  
TEL:092-823-3612  
E-mail:sw-ext@seinan-gu.ac.jp



### 「西南学院大学博物館」 2021年度企画展Ⅱ 「創られたキリスト像(イメージ) — 排耶書と実録のなかの キリスト —」

本企画展では、禁教期に書かれたキリスト教の批判書である「排耶書」や、キリストンについて書かれた「実録」、明治期以降に現れた「キリストン遺物」を紹介し、キリストンイメージの形成とその変化をたどります。



会 期:2022年3月5日(土)～  
5月31日(火)  
会 場:西南学院大学博物館1階  
特別展示室  
入 館 料:無料  
主 催:西南学院大学博物館  
【お問い合わせ】  
西南学院大学博物館 博物館事務室  
TEL:092-823-4785  
(開館時間:10時～18時/日曜休館)

### メールマガジン 『西南学院Letter』に ご登録ください！

メルマガ『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。



※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に、設定をお願いいたします。

【発行】  
総合企画部 広報・校友課  
TEL:092-823-3248  
E-mail:koho@seinan-gu.ac.jp

### 西南学院大学 新体育館・プール棟(仮称)の 建設について

西南学院大学新体育館・プール棟(仮称)は、現在の大学西新グラウンド(西キャンパス)に、延床面積7,971.48㎡(体育館9,577.48㎡ プール棟214.00㎡)、地上3階(体育館)の規模で2023年6月に竣工予定です。これらの建物は、老朽化した建物の建て替えおよび機能向上を目的として、大学キャンパスグラウンドデザインにおける

事業として建設されるものです。新体育館(仮称)の基底は、十字架をモチーフとしており、キャンパスの西端に位置するランドマークとして、建物の象徴性と求心性を向上させます。また、西南学院のブランドイメージを象徴するれんがを基調とした外観デザインにより、他施設との調和を図った統一感のある美しいキャンパスづくりに寄与します。

機能面では、メイン・サブアリーナ上部に自然換気窓を設け、アリーナ面の重力差換気を図ることで、快適なスポーツ環境を実現します。また、体育館屋上に太陽光パネルを設置し、環境負荷低減および省エネルギー化を図り、環境にも配慮した施設となる予定です。加えて本学は、福岡市との防災協定を締結しており、今回の建設に併せて災害時用マンホールトイレや防寒具・非常食の備蓄倉庫を備え、災害時には非常用発電による電力供給設備を備えた一時的避難施設としても活用される予定です。

引き続き、本学では教育研究環境の一層の充実を図るとともに、環境面や防災面における拠点として、地域社会と共生してまいります。



新体育館(仮称)外観



新体育館(仮称)内観

※本パースはイメージであり今後変更の可能性あります。

### 西南学院早緑子供の園(保育所)

### 非常食を食べて 防災意識を高めよう

自然災害や火災等が起きた場合の避難を想定し、おやつ時間に非常食を食べる機会をもちました。園児はテラスに敷いたシートに座り、長期保存可能なパンを保育士から受け取り、「遠足みたいだね」とうれしそうに食べました。いざという時にも少しでも園児が安心して過ごせるよう、避難訓練や備蓄品の準備などを行っています。



おいしそうに非常食を頬張る園児たち

### 西南学院舞鶴幼稚園

### 親子で楽しく 未就園児クラス「ちびっこ」

西南学院舞鶴幼稚園で一番小さい子どもたちが集まる「ちびっこクラス」では、週に1度、親子と一緒に登園して、わらべうたやリズム運動、制作や感触遊びなどを楽しんでいます。時には子どもたちだけをお預かりして遊ぶ日もあり、教師や友達と一緒に過ごしながら少しずつ園生活に慣れ、4月の入園を楽しみに待っています。



みんなで手遊びが楽しいな

### 西南学院小学校

### 4日間の「西南フェスタ」で 学年を超えた交流を実現

2021年12月7日～10日までの4日間、「西南フェスタ」が行われました。コロナ禍の中、十分にできなかった異学年交流の機会をつくろうと計画委員会の子どもたちが企画や立案、運営を行いました。「西南フェスタ」当日は、互いに教室を訪問し合いながらゲームやクイズなどを楽しみ、笑顔あふれるすてきな4日間になりました。



児童たちが企画し、異学年の交流の場に

### 西南学院中学校・高等学校

### 体育祭「一笑懸命～Burn up～」 1年ぶりに開催！

昨年実施することができなかった3年生(現高校1年生)の思いを胸に、生徒たちは出場する競技や応援合戦の練習に一生懸命に取り組みました。どの競技も趣向を凝らし、全校生徒一丸となって体育祭をつくり上げました。当日は闘志を燃やして練習の成果を存分に発揮し、仲間たちと笑顔で喜びを分かち合う姿を各所で見せてくれました。



各ブロック長による選手宣誓

### 大学について 理解を深めた講演会

高校2年生を対象に進路講演会が行われました。大学での学びへの関心を高め、進路目標設定の契機とすることを目的としています。それぞれ自分の興味関心のある分野の講義を選び、熱心に耳を傾けていました。講演会後には「気があった」と振り返る姿が多く見られ、今後の進路を考える上での大きな手掛かりとなったようです。



工学の世界を体験

### 読書教養講座を開催 ～柚月裕子氏が講演～

2021年12月3日、作家の柚月裕子氏を講師に迎え、「ミステリー小説 流儀と作法」というテーマで読書教養講座を開催しました。講演では、映画化され大ヒットした小説「孤狼の血」の執筆背景や「小説を書く時は、舞台とする土地に自分が立て、その時に感じた感覚を大切にしている」といった、小説を書く上での配慮などが語られました。



自分自身の感覚を丁寧に書くことを意識していると語る柚月氏

## 西南学院大学サポーターズ募金ご協力のお知らせ

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向に沿った目的に使用するために使途をお選びいただけます。皆さまのお気持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力をお願いいたします。

### 〈選べる使途の種類〉

1

大学給付奨学金

2

教育・研究活動支援

3

スポーツ・文化活動支援

4

グローバル人材育成支援

5

ボランティア活動支援

6

新体育館・プール棟建設支援

### 寄付者銘板のご紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、永く顕彰いたします。

### 銘板掲載対象

- 【個人】5万円以上
- 【団体】10万円以上
- 【法人】50万円以上の寄付をいただいた方



### 西南学院大学サポーターズ募金に関するお問い合わせ

西南学院 総合企画部 広報・校友課  
TEL:092-823-3248 FAX:092-823-3249  
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学サポーターズ募金ホームページはこちら▶▶▶



西南学院舞鶴幼稚園 教諭 山下 尚子

### 自然の中で過ごす時間を 楽しんでいます

やんちゃで遊び盛りの子どもたちとキャンプを楽しんでいます。雨が降ると地面がぬかるみ汚れること。火は熱いけれど適度な距離では癒しと温かさを与えてくれること。空が暗くなることに逆らわずに過ごすこと、心も身体も落ちていくといった自然の中で心地良く過ごす時間を大切にしています。何もなければこそ何でも自由にできる時間を満喫しています。



食事をする。会話をする。当たり前のように心のゆとりをもって取れない時間過ごす



太陽の温もりや大地の柔らかさを全身で感じながら、思いつき親子で遊ぶ時間はかけがえのない宝物です